

第4回 地域連携研修会

～医学講座 終末期医療と

看取りのガイドラインについて～

令和元年 10月4日発行

今年度第4回目の研修会が9月26日に行なわれ、今回は19施設より41名、一般参加者2名、合計43名と多くの方々に参加していただきました。

院長より終末期医療について事例紹介があり、これからの時代は、自分が病気になった時どこまで治療するか、食べられなくなったらどうするか話し合っておくことが必要であること、畑山総看護師長から当院における看取りのガイドラインについて説明がありました。

施設での看取りをしているという声が多数聞かれ、一般参加者もおおり、関心深い内容で充実した研修会となりました。

「とても分かりやすい講話に参加できました」「自分の心構えとして必要な資料だと思いました」という感想をいただきました。

参加者からは、「終末期医療や看取りについて正解はなく、患者さんやご家族と話し合いの時間を繰り返し持つことが大切だと学ぶことができた」「所要時間については、もっと長い時間必要と感じた」という意見をいただきました。



看取りのガイドラインについて



終末期医療の講義の様子

～アンケートより～

アンケート回収 40枚

1. 研修の所要時間は適切でしたか？

適切 38名

- 理由
- ・もっとじっくり聞きたかった
 - ・分かりやすくちょうど良いと思う

不適切 2名

- 理由
- ・短い。具体的な例のその後の対応など知りたかった
 - ・もっと長い時間必要と感じた（テーマが大きいの）

2. 終末期医療について理解できましたか？

できた 40名

出来なかった 0名

3. 看取りガイドラインについて理解できましたか？

できた 40名

できなかった 0名

- 理由
- ・実際に使われているものが見れて良かった
 - ・資料が見やすかった
 - ・とても具体的で分かりやすかった

4. 今後、日々の業務に活かそうですか？

活かそう 37名 わからない 2名 無回答 1名



多数のご参加ありがとうございました。